

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは？

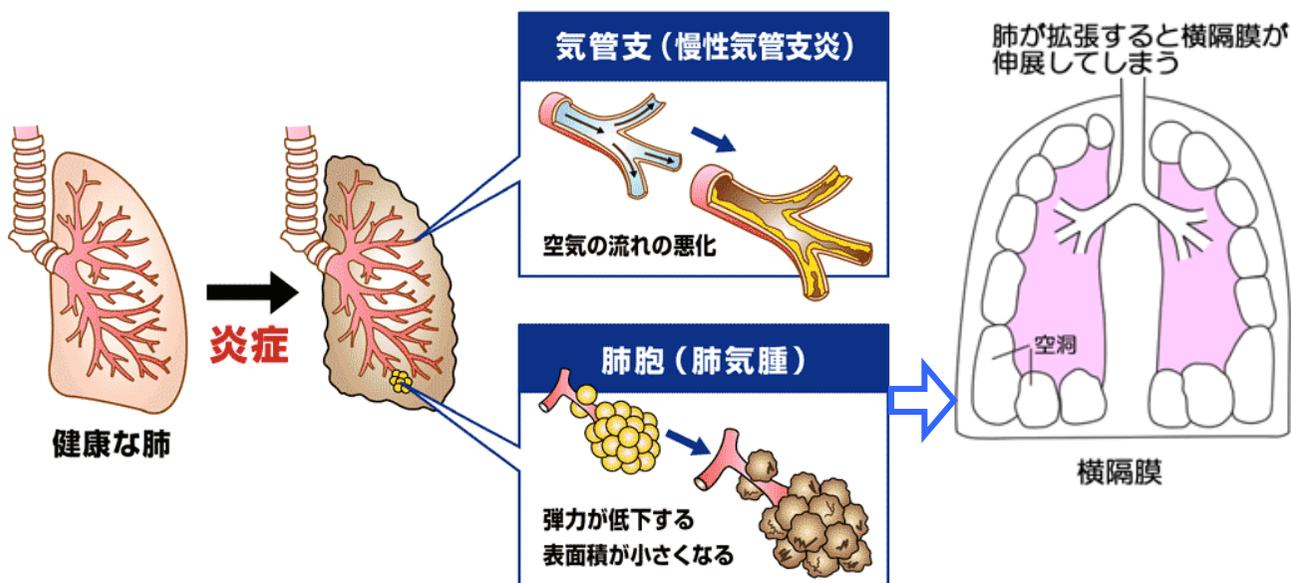
<1> どんな病気？

*気管から、肺の終点（肺胞）までの空気の流れが悪くなる病態です。
具体的には、慢性気管支炎と、肺気腫の2つです。

慢性気管支炎→慢性的に気管支が炎症を起こしていて、^{たん}痰と^{せき}咳がたくさん出ます。

肺気腫→肺胞の壁が壊れて弾力がなくなり、肺胞同士がゆ着して、酸素と二酸化炭素のガス交換ができなくなります。

（過膨張した肺）



<2> 症状は？

*肺が膨らんだままのため、それ以上息を吸おうとしても十分に吸えなくなるのですぐに息苦しくなり、日常動作が十分にできなくなります。

*気管支に痰が詰まることで細菌やウイルスが侵入しやすくなり、感染症にかかり易くなります。

<3> 原因となる危険因子は？

- ・長期の喫煙歴をもつ中・高年者
- ・大気汚染（工場、建築現場などに長時間いる事も含む）
- ・気道感染（繰り返す気道感染や、乳児期の肺炎）

参考

一般に、たばこ歴を図る指数を、
プリクマン指数(1日の本数×年数)
で表し、おおよその目安にしている。
指数が700を超えると、
慢性気管支炎、肺気腫だけでなく、
肺がんや心臓病にも悪い影響がでてく
ると言われています。

<4> どんな検査でわかるの？

- ①肺機能検査（スパイロメトリー）
- ②胸部レントゲン検査
- ③胸部CTがあります。

<5> 治療は？

COPDになると、呼吸困難→体を動かしにくくなる
→全身の筋力低下→呼吸困難の悪化という悪循環が生じます。

- ①禁煙～治療の基本は禁煙です。
- ②薬物療法～主に使用されるものは、呼吸を楽にする気管支拡張薬です。
その他に、痰^{たん}を出しやすくする去痰薬^{きょたん}、抗生物質の使用（マクロライド系）などがあります。
- ③病気が進行するようであれば、呼吸リハビリテーションと軽い運動を行い、血液中の酸素濃度が低くなれば、在宅酸素療法が行なわれます。

<6> 日常生活の注意点

お薬は、毎日継続して使用する事で効果がでるため、自己判断で中止しないようにしましょう。

- ①かぜや、インフルエンザをきっかけに症状が悪化する事があるので、症状が強くなった場合は、すぐ受診しましょう。
- ②予防接種が可能な方は、インフルエンザワクチン接種をおすすめします。
- ③呼吸リハビリも継続しましょう。

